

サニーメイズNEWS

2014年 5月

発行 株式会社サニーメイズ

TEL 054-365-5163

静岡県静岡市清水区横砂南町2-1

FAX 054-364-2578

トウモロコシの在庫について

単位100万ブッシェル

米国産14年/15年クropp(2014年5月予測)

期初在庫	1,146	
生産量	13,935	(作付面積)
輸入	30	2014年・・・9,540万エーカー
国内消費	11,685	2015年・・・9,170万エーカー
輸出	1,700	370万エーカー(3.9%減少)にも関わらず
期末在庫	1,726	昨年(13,925)とほぼ同等の生産量の見込み
在庫率	12.9%	です。

今後のトウモロコシ相場のポイント

強(上昇)材料

- ・平年を下回る作付け進捗
- ・堅調な輸出需要
- ・ウクライナからの輸出減少懸念

弱(下降)材料

- ・潤沢な期末在庫
- ・農務省需給報告での豊作期待

(ウクライナ産)

ウクライナではクリミア半島での政情不安も去る事ながら、農家にとっての融資拒否や高金利から、必要な資材の調達が困難になっています。作付けにトウモロコシを予定していても、投入コストの安い大麦へ切替えるか、冬小麦の作付けまで休耕地にする農家が多くなる可能性が高まっています。

これらはシカゴ相場に必ず影響を与えるものであり、米国産使用だからと無関係を決め込む訳にはいかない次第です。

作付けの動向

トウモロコシの最大生産国、米国での作付けが遅れています。昨年も同様のニュースが流れており、正直「またなのか？」との思いが募ります。

米国農務省の発表によりますと、5月上旬時点での作付け進捗は、主な生産地の過去5年平均の42%に対し、29%に留まっていました。



しかし、その後の天候の回復により、作付けは急速に進展。5月中旬の過去5年平均76%に対し、73%まで回復しています。

コーン作付けは終盤に入っていますが、気温差がありますミネソタ州、ウィスコンシン州といった北部の州（5大湖の西側）は、未だに50%を切っている点が、懸念材料になります。

FABEX（惣菜・弁当・中食・外食産業の業務用展示会）

4月2日（水）～4日（金）の3日間、東京ビッグサイトで、FABEXが開催されました。昨年に引き続き、グループ会社の合同酒精と共に出展し、多くのお客様との交流を実現する事が出来ました。



コーンを使用した食品サンプルと、原料コーンを展示。また、洋菓子サンプルやコーン茶を配り食感、色味と共に、コーンがアレルギー対象ではない点を、多くのご来場者様に直接お話をさせて頂きました。